

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和4年5月27日（金）午後2時から

会 場：アオーレ長岡 東棟4階 大会議室

**【会見項目1：個別接種は6月1日から、集団接種は6月25日から
新型コロナウイルスの4回目接種を開始します】**

（市長）

長岡市では、新型コロナウイルスワクチンの4回目の接種について、医療機関での個別接種を6月1日から、集団接種を6月25日から開始します。対象者は、3回目接種から5カ月経過した60歳以上の方です。また、18歳から59歳までの方で基礎疾患のある方や、感染した場合に重症化リスクの高いと医師が判断した方も対象となります。この4回目の接種が円滑に進められるよう、長岡市は、医師会をはじめ関係医療機関と連携して接種体制の強化に努めてきましたが、今後もしっかりと連携して対応していきたいと考えております。

対象者数は、10万5,000人と見込んでおります。60歳以上の方が9万4,000人、18歳から59歳までの基礎疾患のある方等が1万1,000人です。

接種券につきましては、3回目接種から5カ月経過後に接種が受けられるように発送し、接種券が届いた方から順次接種していただくこととなります。発送の時期は、60歳以上の方には本日から順次発送します。基礎疾患のある方等については、接種券発行の申請をしていただく必要がありますので、ご理解いただきたいと思います。

具体的な進め方ですが、まず3回目接種が済んだ60歳以上の全ての方に市から接種券を発送します。申請は不要ですので、接種を希望する方は接種券が届いたら、3回目と同じ接種方法で受けていただくこととなります。

個別接種については、対象者を5万4,000人と見込んでおり、6月1日以降、準備の整った市内の医療機関から順次接種が受けられます。4回目接種ができる医療機関や予約方法につきましては、接種券に同封するチラシや市のホームページでお知らせします。施設に入所している方向けの高齢者施設接種は、対象者を約5,000人と見込んでいます。また、集団接種については、対象者を3万5,000人と見込んでおり、6月25日から開始します。接種会場と日時を市があらかじめ指定する方式をとり、指定された日程が都合の悪い方は、変更希望票を提出すれば変更が可能です。

なお、65歳以上の高齢者の中には接種会場に行く手段がない方もいるため、タクシー割引券を接種券に同封しますのでご利用いただければと思います。

18歳以上59歳以下の基礎疾患のある方等への接種については、まず3回目接種を完了した18歳から59歳までの方全員に、4回目接種券の発行申請書を発送します。3回目接種を早い段階で受けた方については、既にこの申請書を順次発送しており、今後も3回目接種から3カ月から4カ月経過後を目途に発送します。次に、接種券発行申請書を提出いただいた方には、3回目接種から5カ月後を目途に接種券をお送りしますが、原則としてかかりつけの医療機関での接種となります。なお、その医療機関が4回目接種を行わない場合もありますので、その際は集団接種で受けていただくこととなります。会場や日程、予約方法については、接種券に同封するチラシ、市ホームページでお知らせします。

以上が4回目接種の概要となります。なお、5月22日時点のワクチン接種の現況は、資料に

記載のとおりです。

(記者)

4回目接種については、60歳以上の方と18歳から59歳までで基礎疾患のある方が対象ということですが、全体として若年層の接種が進まない状況にあるかと思います。市長として市民に訴えたいことがありましたらお願いします。

(市長)

1回目、2回目の接種で副反応が強く出た方が、追加の接種を若干ためらっている、または様子を見ている状況があるのではないかと思っています。ただ、それほど重篤な副反応は報告されていませんので、できるだけ接種していただくように今後も呼びかけていきたいと思いません。

(記者)

65歳以上の高齢者にタクシー割引券を配布するということですが、いくら分の割引券になりますか。

(市長)

500円分の割引券を2枚配布します。

【会見項目2：物価高騰に直面する子育て世帯を早急に支援 総額3億7千万円を5月27日付で専決処分】

(市長)

新型コロナウイルス感染症による物価高騰に際し、子育て世帯に対する早急な支援を行うため、総額3億7,214万9,000円を5月27日付けで専決処分により予算措置しました。

項目の1つ目は、家計の物価高騰などの影響を受けやすい子育て世帯に対して児童1人当たり5万円を支給する子育て世帯生活支援特別給付金で、事業費は2億9,527万9,000円です。まず、ひとり親世帯分です。1,750世帯、2,536人への支給を見込んでおります。支給予定時期は、児童扶養手当受給者に対しては、通常の支給分に上乗せする形で6月22日にプッシュ型で支給します。その他の対象者の方は申請手続きが必要ですので、6月下旬から順次支給する予定です。次に、ひとり親世帯を除いた非課税世帯分です。1,650世帯、3,000人への支給を見込んでおります。支給予定時期は、児童手当または特別児童扶養手当の受給者には、住民税額の確定後、7月下旬にプッシュ型で支給する予定です。その他の対象者の方は申請手続きが必要ですので、8月から順次支給いたします。

項目の2つ目は、学校給食費の支援補助金です。事業費は7,687万円で、各学校の給食費会計に対して補助することで、食材費が今後高騰しても保護者の負担を増やすことなく、給食の水準、栄養バランス、量を保っていききたいというものです。1食当たり大体300円かかりますが、これに対し概ね20円を補助するための予算を計上しております。

専決処分は以上ですが、物価高騰対策に関する事業については市議会6月定例会のほか、その後も機会をとらえて予算計上していきたいと考えております。

(記者)

児童1人当たり一律5万円の支援策は、先月、国も方針を決めたところですが、長岡市としての独自部分はありますか。

(市長)

それはございません。

(記者)

国では、自治体の独自支援に対して臨時交付金措置するという話でしたが、その点はいかがですか。

(市長)

今回の給食費補助は長岡独自の事業ですので、交付金を充てたいと考えています。その他、必要となる支援についても引き続き状況を見極めていく中で、追加で予算措置することも考えております。

(記者)

子育て世帯を支援する意義について改めて教えてください。

(市長)

物価高騰は、まだこれからという分野もありますし、食料品の価格は非常に上がっている状況です。産業界では、電気料や原材料費が上がっています。今後の推移も見極めていかなければならない中で、やはりお子さんを育てている世帯やひとり親の家庭においては、どうしてもいろいろな出費がかさんでくるという状況であるため、国が最初の対応として措置したものだと思っております。市としても、やはり真っ先に支援していくべきであると考えているところです。

(記者)

給食費は長岡市独自ということですが、そこに力を入れる意義を教えてください。

(市長)

給食費は保護者負担が原則ですので、そういう意味では物価高騰に対しては、給食費を上げて対応するという考え方もあります。ただ市としては、いきなりそういった措置を取るよりも、状況を見極める意味で、給食費の値上げではなく市の補助によって水準を維持していきたいと思っております。子どもたちの食べる物の質が落ちることは避けるべきだと思っておりますので、この1年間はしっかり支えていきたいと思っております。

(記者)

今後、機会をとらえて予算計上していくというお話でしたが、今回が最初の段階で、これから継続して支援していくということでしょうか。

(市長)

そういうことです。これはあくまでも第1弾で、市議会6月定例会でもう少し大きな規模の予算を上程しますので、その後も、例えば消費者物価指数の変動等を見極めながらしっかり取り組んでいきたいと思っております。

(記者)

現時点で、物価高騰の影響で学校給食の提供が大変になっているという状況ではないという認識でしょうか。

(教育部長)

現時点で、学校給食の現場における食材の購入など、影響が顕著になっているということは聞いておりません。

(記者)

対象となる学校は、市立の小中学校ということでしょうか。

(教育部長)

市立の小中学校、総合支援学校、高等総合支援学校です。

(記者)

学校給食費の未納が増えているということはありませんか。

(学務課長)

今のところは、例年に比べて特に未納が増えている状況は生じていません。

(記者)

小学校と中学校の給食費は、1カ月で大体どの程度ですか。

(学務課長)

小学校は1食単価で概ね300円、年間200食程度を提供しておりますので、年間6万円です。夏休みと3月は徴収しませんので、10カ月で割りますと1カ月当たり概ね6,000円です。

中学校は1食350円で年間200食程度ですので、年間7万円になります。同じく計算しますと1カ月当たり7,000円ということになります。なお、学校によって単価や給食の回数が若干異なりますので、金額は多少上下することとなります。